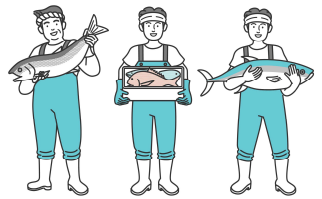


高浜町 マリンビジョンニュース 第2号

2025 年(令和7年) 10 月 10 日(金曜日)

編集・発行：高浜町産業振興課
〒919-2225 高浜町宮崎第 86 号 23 番地 2
電話：0770-72-7705 FAX:0770-72-4000
メールアドレス：machi@town.takahama.lg.jp



TAKAHAMA TAWN MARINE VISION REPORT-No2

第2回委員会が開催されました

■第2回高浜町マリンビジョン策定委員会が開催されました

第1回高浜町マリンビジョン策定委員会（7月9日開催）に引き続き、去る令和7（2025）年9月19日（金曜日）14時から、第2回目の委員会が、高浜町役場の第3・4会議室で開催されました。

渡慶次委員長（福井県立大准教授）の進行により、参加委員のみなさん全員が積極的に発言し、終始、活発な意見交換の場になりました。

第1回委員会を経て、委員のみなさんは、いい意味で肩の力が抜けた雰囲気の中、今回は主に将来の高浜町の活性化に向けた「漁業振興」、「流通・加工」、「人口・就業者（担い手）」をテーマに、2テーブル（漁業関係者中心のテーブルと観光や流通中心のテーブル）に分かれて熱心な意見交換が行われました。

そして、最後にテーブル毎に代表者が3つのテーマについてどのような意見がでたかを発表することで、異なる立場の人が、何を考えているのかを知る良い機会になりました。



（第2回委員会での意見交換の様子）

■第2回委員会の進め方

話題提供（事務局）

- ① 第1回委員会の振り返り
第1回委員会での話し合いの結果をまとめて、委員のみなさんに共有しました。
- ② 関係者アンケート最終結果報告
第1回委員会後の集まった回答を加えて、最終的な高浜マリンビジョンについての意見を集計するとともに、男女別、年齢別、居住地別の意見の違い等について報告しました。

テーブルセッション（2テーブルに分かれ、自由討論）

A テーブル（漁業関係者中心）

B テーブル（観光他関係者中心）

共通テーマ（①漁業振興、②流通・加工、③人口・就業者）について高浜町の強み、弱み及び外から見た強み、弱みについて意見交換

A テーブル検討結果の発表

B テーブル検討結果の発表

委員全員による異なる立場の人たちの意見の共有

AテーブルとBテーブルの意見発表

テーブルセッションの後、2テーブル毎に、代表者が、高浜町の①漁業振興、②流通・加工、③人口・就業者をテーマに話し合われた結果を発表しました。それぞれの立場により、異なる意見があることが委員全員に認識され、次回委員会で予定されている高浜町マリンビジョンの中心テーマである「海業振興」の議論に向けた貴重な情報が共有されました。

■Aテーブル(漁業関係者中心メンバー)の主な意見交換結果発表

漁業振興では、内部の強みとして、①高浜町は**魚種が豊富**であること、②**ブリ**など最近よく獲れる魚は良質で**サイズが大きく**、舞鶴などの市場評価が高い点があります。一方、弱みは、魚の評価が高い要因が衛生管理面での評価と直結しているのかもしれないですが、実際に市場を使う側の人間としては、③**衛生管理対応が面倒**であったりします。外部要因としては、④**油代や小売代が値上がり**し、**経営を圧迫**しているという点があります。解決策としては、内浦は養殖中心で、高浜は漁業従事者が中心になっているので、小浜の阿納のような形で、⑤**多角経営の漁業だけではなく**、⑥**民宿や観光面をプラスした経営強化の可能性**があるのではないかという意見が出ました。

流通・加工面では、①町内に**加工事業者が（株）ま**ちからしかなく、②**セリ人が少ない**ので、③**高浜市場に集まる魚が少なくな**ってきていることが問題で、これらが、④**地元消費が少ない**ことにつながっている。一方、強みは、⑤**衛生管理型市場施設が整**い、⑥**海水が使える**点にあるという意見がありました。また、船の油代もですが、⑦**流通経費や、⑧人件費もすごいスピードで上が**っているため、⑨**行政のバックアップがあると、漁業振興も含めて流通の部分の問題解決への糸口が見える**のではという意見が出ました。また、市場のセリ人が少なくなっているという問題の解決策として、⑩**町内の民宿や一般の人がセリに参加できるしくみづくり**が議論されました。

人口・就業者の面でのプラスの部分は、①**定置乗組員に若手が増**えたこと、②**加工場で若返りが進**んでいることなどが挙げられます。一方、田舎特有の、③年寄りの意識と若手の意識が合わないことが原因で、**なかなか人が戻ってこないことが弱み**かな。漁業従事者を増やすにはどうすればいいか？例えば、④**1か月ほどの体験授業を可能にするパッケージづくり**が考えられ、それを進めるには、⑤**体験者の住む場所が必要になるので船小屋の活用など、人が住めるところを作**っていくようなことが、面白いのではないかと。



（Aグループ代表者の発表）

■Bテーブル(観光関係者他メンバー)の主な意見交換結果発表

漁業振興・流通面では、内部の強みは、①**漁協が定置を営**営している地区は他にない取組との意見がある反面、魚の買い方という部分も含めてですが、②**高浜には寿司屋が1軒**しかない、②**魚に触れる場所が町内**にないというあたりが弱みだという意見がありました。また、③**地元のうまい魚が地元の人を含めてあまり知られていない**という意見もありました。セリの場合で、④**漁師がとってきても市場で受けられず、持って帰る例もある**ようで、④**これらの魚も有効に使って**いく可能性はないか？また、⑤**住民や観光客が高浜の魚をどうやって買った**らよいかわからないとの意見もありました。昨年ブリが大量にとれたときに、ブリはどこで買えるのですか？……とか。

加工面では、高浜らしい加工品でうまいものは何だろうとの話が出たのですが、①**へしこだしの吟醸トロサバは凄くおいしい**。②**こうした季節ごと、地域ごとに何か目玉がある**と良いなどの意見がでました。また、この話の流れで、③**和田の加工場という立派な施設があるので、うまく活用**したいという話が出ました。④**地元の加工品を地元の人**が買えるのも良いし、それこそ、地元の人と密着しているからこそできる作戦だなとます。これが、どんどん外にも**広ま**っていくきっかけになるのかも。

人口・就業者の面でのプラス要因は、①関西から近い、②海がきれいなどと**ポテンシャルはある**ものの、①**いざ来て住むとなった時に、どうしていいか分**からない。つまり、②**何か人を受け入れる明確な制度がない**ことがすごくネックになっているのではという意見がありました。ポテンシャルはすごく高いので、③**高浜に来る理由**になると思います。④**最初高浜を知る→魚を食べてみる→体験して**みる→**人と関わって働く住む**みたいない一連の流れがきちんと**デザイン**される必要があると思います。また、⑤**実際に住んだあと何かよそ者感**みたいな、**空気感はある**（知っている人、仲の良い人はうまくいっているけど、そうじゃない人はちょっと外みたい感じがしているのかな）という意見もありました。これから高浜にずっと定住してもらうためには、⑥**働ける場を**しっかり作っていく必要があるという意見もありました。



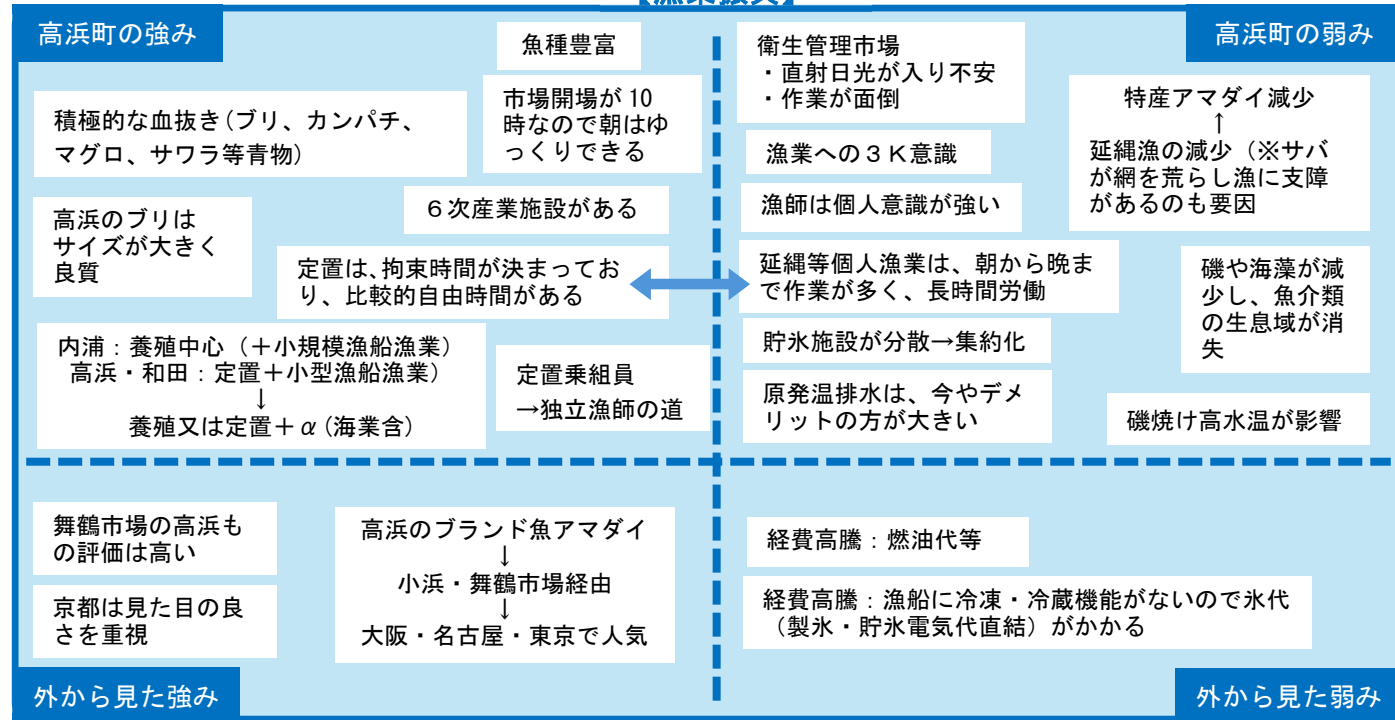
（Bグループ代表者の発表）

第2回 高浜町マリンビジョン検討委員会が出た主な意見(テーブルセッションの概要)

令和7年9月19日に開催された「第2回高浜町マリンビジョン検討委員会」のテーブルセッションで出された主な意見を下図にまとめました。漁業・水産業と観光振興を連携した将来の高浜町の振興に向けて、2テーブルに分かれ、①漁業振興、③流通・加工、③人口・就業者をテーマに、活発な意見交換が行われました。

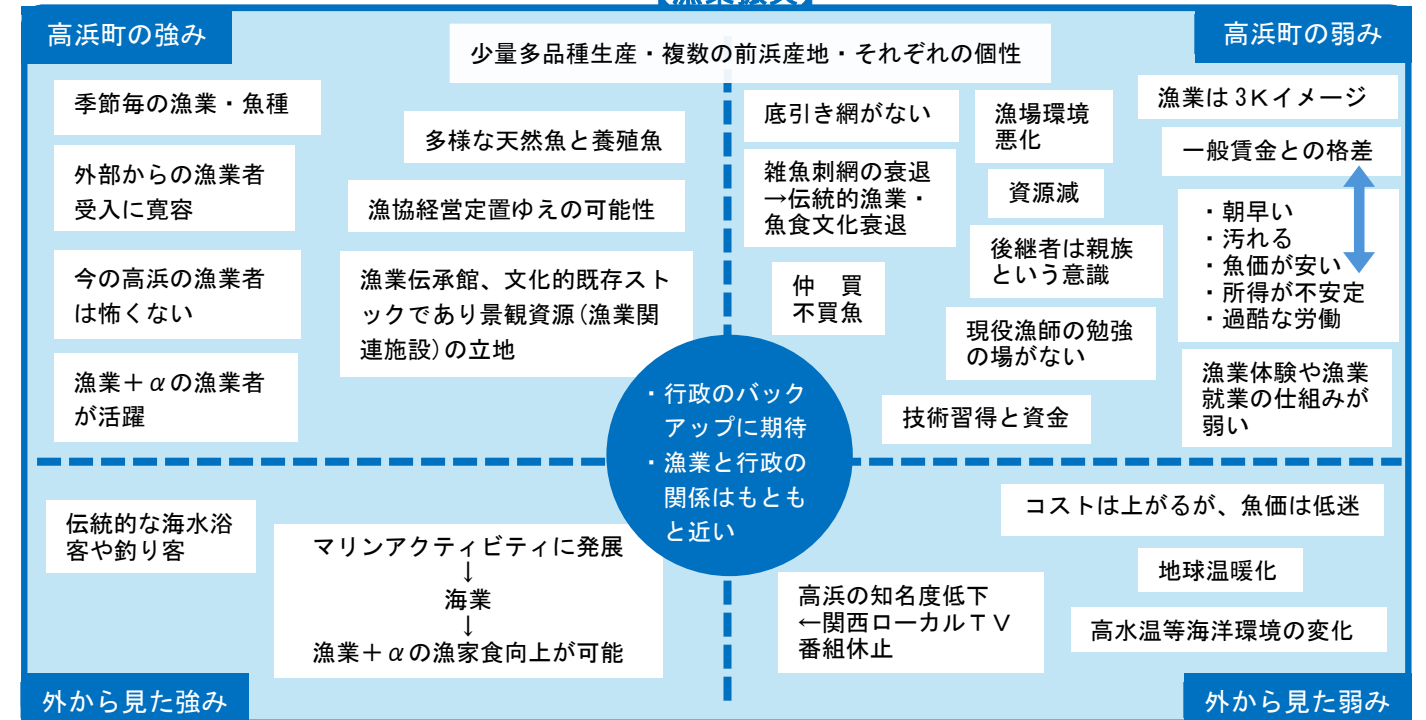
A グループ (漁業関係者中心)

【漁業振興】

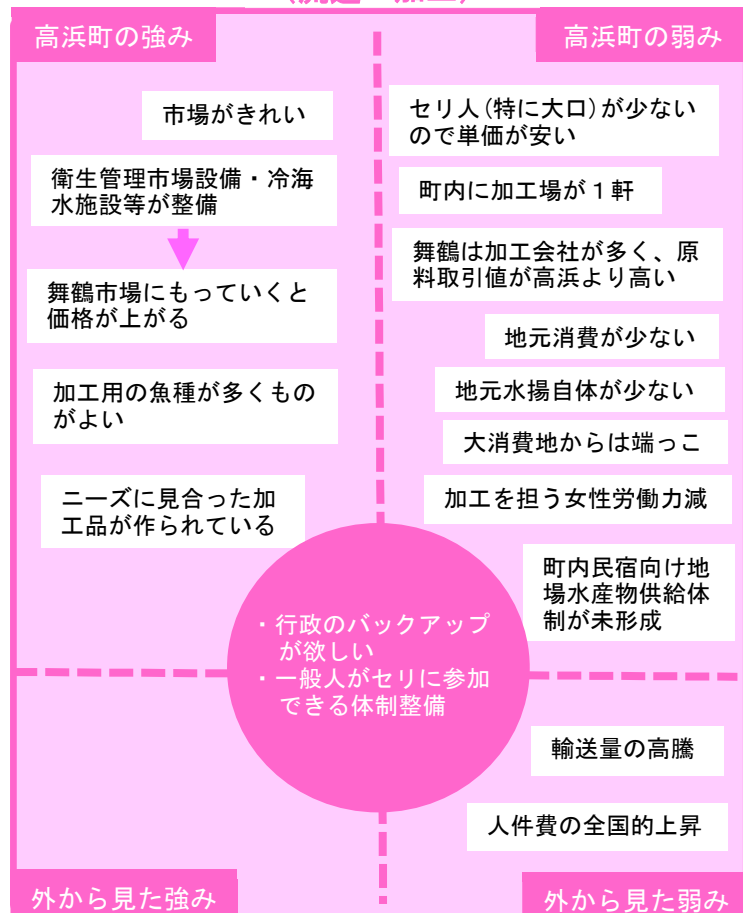


B グループ (観光関係他関係者)

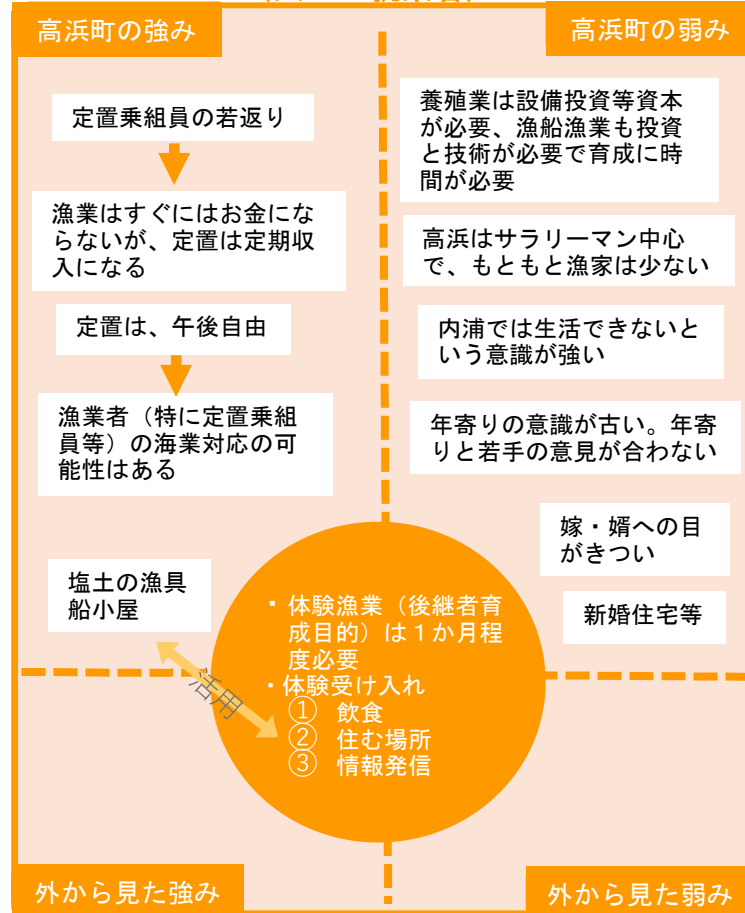
【漁業振興】



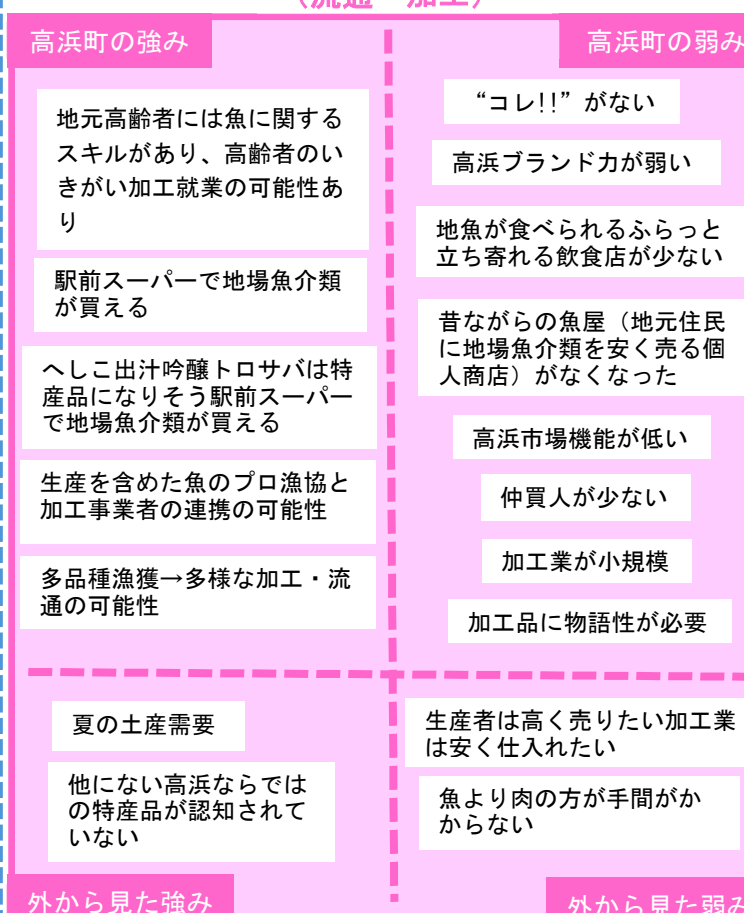
(流通・加工)



(人口・就業者)



(流通・加工)



(人口・就業者)

